

四季
だより

ごんた だ

春号

2020
VOL. 17

Contents [目次]

| | |
|-------------------------------------|----|
| 大新年会 | 2P |
| 医療安全推進週間 | 3P |
| GEMプロジェクト | 3P |
| 看護部だより | 4P |
| リハビリテーション科だより | 4P |
| アンコールワット小児病院研修 | 5P |
| 職員旅行報告・ダナン四日間 | 5P |
| ドクターによるヴァイオリン | 6P |
| 三重奏コンサート | |
| 私の故郷 | 6P |
| 新型コロナウイルス感染症から見直す 「手指衛生とマスクの使い方」 | 7P |
| 医療連携室だより | 8P |
| アクセス | 8P |



一般社団法人 巨樹の会

五反田リハビリテーション病院

白黒川 桜

大新年会

令和2年1月23日(木)、目黒区のホテル雅叙園東京にて連携先の医療関係者の方々、地域の皆様をお招きして合計約450名の参加による新年会を開催いたしました。来賓の方々からご挨拶を頂戴し、院長からは職員へ慰労の言葉が述べられました。各病棟の余興発表では練習成果を如何なく発揮して、素晴らしい演技を披露することができ、職員間の団結を深めることが出来ました。令和2年も地域に一層評価される病院を目指して参りたいと思います。

総務課 森田



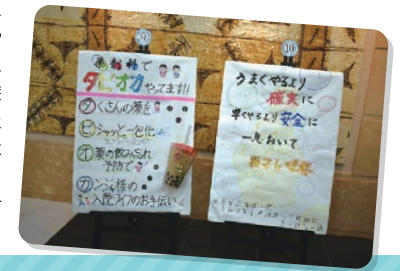
医療安全推進週間



令和元年11月17日(日)から令和元年11月27日(水)まで、病院受付ホールに医療安全に関するポスターを掲示いたしました。各部署で創意工夫して作成したポスターは、日々の業務の基本的な内容であっても大事なことから、医療安全に対する意識を高めることに繋がっております。

「医療安全推進週間」とは、平成13年に「患者の安全を守るための共同行動(PSA)」の一環として、医療機関や医療関係団体等における取組みの推進を図り、また、これらの取組みについて国民の理解や認識を深めていただくことを目的として、厚生労働省が推進しています。行政機関、医療関係団体、医療機関、製造団体等においては、この週間を中心として、医療安全向上のため、シンポジウムの開催、研修の実施など様々な取組みを進めています。

総務課 緒方



GEMプロジェクト



GEM

プロジェクト

Gotanda Excretion Management
(五反田) (排泄) (管理)



令和2年1月15日より看護部で排泄プロジェクトが発足しました。プロジェクト名は、GEM(Gotanda Excretion Management)です。これは、一人ひとりの患者様の排泄の自立を目指し、最適なケアの実現を目的としています。現在、最適な排泄ケアにかかわる知識と技術を習得して実践し、さらに新規アイテムの導入に向けてデータを収集しています。また、排泄ケア管理に関する院内認定制度を導入し、認定者は名札に紫のバッジをつけて院内で活動しています。これまで以上に、患者様、ご家族様とともに、自宅復帰に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

看護部 藤岡

看護部だより



… 病棟レクリエーション …



令和元年12月に実施した病棟レクリエーションについて報告いたします。クリスマスツリーに見立てた点数ボードに患者様が2チームに分かれてボールを投げて点数を競うゲームをしました。

初めは戸惑いながら投げていましたが段々と白熱していき遠くへ飛ばしたり、高得点に入ったときには大きな声で喜んだりとても盛り上がり、皆様の普段とは違う笑顔と笑い声に元気をもらいました。そして最後に「あわてんぼうのサンタクロース」「赤鼻のトナカイ」を合唱して締めくくりました。

普段とは違う患者様の表情を見ていたら心がほっこり、温かくなる様でした。笑顔と笑い声のある素敵な会でした。

看護部 長友



アンコールワット小児病院研修



令和2年1月16日から3泊5日でアンコール小児病院へ研修に行かせていただきました。私も就職してから寄付をさせていただいておりましたが、どのように役立っているのかを知る良い機会となりました。病院はシムリアップというアンコールワット遺跡がある街の中心部にありますが郊外からの患者も多く、外来は1日で500~600人を診察するとのことでした。また、小さいお子さんが入院しているため家族が泊まれる施設や調理場まで完備されており食事や宿泊費も無料とのことでした。カンボジアは発展途上国であり急速に経済成長が進んでいますが郊外では下水や電気などインフラ整備が不十分であり小児の死亡率はまだ高い状態です。その中で16歳まで無料で診察と治療をしていると聞いて、自分の寄付がこのような形で役に立っていると知り、感動しました。今後もアンコール小児病院への応援を続けていきたいと思っています。



リハビリテーション科 高木

リハビリテーション科だより



「ウォーキング」の3つのポイント

寒さで厳しい冬も終わり、少しずつ春を感じる暖かい日が増えてきましたね。そんな気候の中、体を動かすことや新しいことを始めたいと思う方が増えてきたのではないのでしょうか。そんな時に、おすすめするのは「ウォーキング」です。生活の中で歩く機会は多くありますが、ただ歩くだけでは意味がありません。また、間違った歩き方では疲れが溜まってしまふばかりです。ここでは、明日から取り入れられる正しい歩き方のポイントをお伝えします。

— 良い例 —

— 悪い例 —



- Point① **顎を引き、目線・おへそを前に向けましょう!**
✕下を向いて歩いてしまうと体が前のめりになってしまいます。
- Point② **踵から着地し親指の付け根で地面を蹴りましょう!**
✕つま先や足裏全体での着地は膝を痛める原因となってしまいます。
- Point③ **大まかで歩きましょう!**
✕歩幅が小さいと躓きやすくなってしまいます。

以上の注意点を意識して頂くことで、普段何気なく歩いている歩きの質が上がり、「ウォーキング」という立派な運動になります。自分の体の無理の無い範囲で、3つのポイントを意識して歩いてみましょう!

リハビリテーション科 植山

院内旅行記 in ダナン



令和2年1月8日~11日まで院内旅行でベトナムのダナンへ男4人で行ってきました。ダナンは想像よりかなり発展している街でした。フォーや生春巻きなどのベトナム料理も食べましたが、日本で食べるベトナム料理とはかなり味が異なり驚きました。昔のベトナムの町並みとドリアンの香り広がるホイアンには400年以上前に日本人が架けた日本橋こと「来遠橋」があり当時の日本とベトナムの友好性を感じることが出来ました。



気候も過ごしやすく、まだまだ観光名所も沢山あるので気になる方は是非ダナンへ足を運んでみて下さい。

リハビリテーション科 廣瀬

ドクターによる ヴァイオリン 三重奏コンサート



令和元年12月25日
松谷雅生院長・石川卓志副院長・田畑均医師によるヴァイオリン三重奏コンサートを開催しました。
曲目は「サウンド・オブ・ミュージックから朝の賛美歌～ハレルヤ」「シングルベル」「赤鼻のトナカイ」「クリスマスソングメドレー」「we wish you a merry christmas」「ホワイト・クリスマス」でした。
あっという間の時間でしたが、患者様やご家族様にも楽しんでいただけたようです。今後も様々なイベントを開催しご案内させていただきたいと思っております。
患者サービス委員会



新型コロナウイルス感染症から見直す 「手指衛生とマスクの使い方」

現在、新型コロナウイルス感染症が大流行しています。予防策は、飛沫、接触感染対策です。感染対策の基本は、手を清潔に保つことです。手洗いや手を消毒する機会が増えましたが、効果的な手順に沿って行えているでしょうか。ただ、手に消毒液をつけているだけでは効果はありません。これを機会に、ぜひ正しい手順を身につけ、自分自身の身体と周囲の大切な人たちを守るために、自分たちができていることをやっていきましょう。

マスクには予防効果はありませんが、ウイルスの拡散防止になります。しかしながら、マスクのつけ方、はずし方が間違っている方を見かけます。口、鼻が覆われていない『顎マスク』や、腕にはずしたマスクをつける『腕マスク』は効果がなく、マスクについたウイルスを環境面に拡げ、周囲の人たちにウイルスをうつしてしまいます。『つけているだけマスク』では効果はありません。以下のように正しいつけ方とはずし方をもう一度確認しましょう。

看護部 藤岡

正しい手の消毒方法



正しいマスクの使い方



※イラストは、medical SARAYAホームページより引用。

私の故郷 My hometown

こんにちは。今回は私の故郷である東京都調布市を紹介したいと思います。調布市は東京都の多摩地区東部にある市です。東京都23区に接し交通の便も良いですが古くからの寺社や武蔵野の自然も残っていて、都心に近く住環境の整った住宅地です。



※調布市提供



東京(味の素)スタジアム

調布には昨年話題にもなったラグビーワールドカップ、そして東京オリンピック競技(サッカー、ラグビー)会場にもなっている「東京(味の素)スタジアム」があります。残念ながら地元開催の競技チケットには落選してしまいましたが、雰囲気だけでも感じられたらと思っています。皆様も是非、調布市に足を運んでみてはいかがでしょうか。

リハビリテーション科 高澤



医療連携室だより

当院では、患者さんが一日も早く快適な日常生活を送ることができるよう、医師、看護師、薬剤師、理学療法士（PT）、作業療法士（OT）、言語聴覚士（ST）、管理栄養士、看護補助者、社会福祉士といった、各職種がチームとなり、日常動作の改善・向上を目指します。

とりわけ私たち医療連携室のスタッフは、患者さんがリハビリ・体力回復に専念できるよう励んでおります。患者さんやご家族はもちろんのこと、在宅医療・福祉サービス提供事業者などと密に連携をとり、様々な問題を一緒に考え、よりよい解決への糸口を見出すお手伝いをしています。

患者さんやご家族の気持ちをしっかり受け止め、在宅・社会復帰に向けて、個別によりよい医療を提供するよう心がけています。

どんな些細なことでも構いません。お気軽にお声がけください。

医療連携室 一同



医療連携室

医療連携室の受付時間
9:00～16:30（月～土曜日）

入院相談

加藤・森本・町田・高橋

病棟担当

小又・石塚・三浦・黒木・
松澤・田口・志田・宮田・中村

☎ 03-3779-8826（直通）

ごたんだ
四季だより

春号
2020
VOL. 17

令和2年4月

一般社団法人巨樹の会
五反田リハビリテーション病院

広報委員会

〒141-0031

東京都品川区西五反田8丁目8-20

TEL 03-3779-8820

FAX 03-3779-8823



- 五反田駅（JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線）徒歩8分
- 大崎駅（JR山手線、埼京線、りんかい線）徒歩12分
- 大崎広小路駅（東急池上線）徒歩3分